

APNIC & RIRs Update

第43回JPNICオープンポリシーミーティング(2022/12/2)

APNIC54(2022年09月08日～15日)



シンガポールにて会場を設けて2年半ぶりのオンサイト開催！
(遠隔参加を含むハイブリッド形式)

参加方法：オンサイト/Zoom/YouTube Live

参加者数

69カ国(経済圏等含む)

オンサイト:563名 オンライン595名

→APNIC52(オンラインのみ)で473名。現地もオンラインも例年より↗

現地の様子



現地参加した職員のフォトレポートをJPNIC Blogで公開しています。

APNIC54フォトレポート: <https://blog.nic.ad.jp/2022/8010/>

プログラムについて

- Workshop

Network management and monitoring, SDN, IPv6 etc...

- SIG(Special Interest Group)

Cooperation , Policy, NIR, Routing Security

- Technical

IPv6 Deployment, FIRST Security etc...

- 共催イベント

APrIGF 2022

APSIG 2022

- その他

NextGen

選挙について

NRO NC (The Number Resource Organization Number Council)

現職 + 新人の2名が立候補

Shubham Saran氏(インド/NIXI)

Gaurav Kansal氏(インド/ National Knowledge Network)

投票について

- 投票はインターネット投票で実施。
- APNIC Memberに1票
- 期日までの参加登録及び過去5年以内のAPNICカンファレンスに参加登録したことがある個人に1票
- 通常は最終日AMM(APNIC Member Meeting)で開票

選挙について

ですが...

**AMM内にて不正投票の疑いがあることが発表され、
発表は調査完了後へ延期。**

3週間強に及ぶ調査が事務局で行われました。

選挙結果

2022年10月11日(火) APNIC事務局から調査レポートの公開・選挙結果の発表

- 怪しいデータはあったが、確証となるものではなく、選挙結果に対して影響のないものであった。
- よって選挙の結果をこのまま認める。
- 次回以降の選挙では今回の参加登録の取り扱いを検討する。

今回、同様にSIGチェア等の選挙も行われたが、ことごとく現職が退陣し、信任が当選する結果となった。

NRO Number Council (NC) Election 2022

NRO Number Council (NC) Election 2022

As at Poll close: Thursday 15 September 2022 15:30 AEST
Vote counting method: V1 FPTP (first-past-the-post)
Ranked by votes

Candidate	Votes
Gaurav Kansal	324
Shubham Saran	136
Total votes:	460

Policy SIG Co-Chair Election 2022

Policy SIG Co-Chair Election 2022

As at Poll close: Thursday 15 September 2022 15:30 AEST
Vote counting method: V1 FPTP (first-past-the-post)
Ranked by votes

Candidate	Votes
Anupam Agrawal	72
Ching-Heng Ku	33
Total votes:	105

APNICの発表記事(記事内リンクに詳細レポート有) : <https://blog.apnic.net/2022/10/11/apnic-54-election-analysis-completed/>

Policy SIG: コンセンサス確認の方法

オンサイトでは挙手

オンラインではZoom Poll とConfer (<https://confer.apnic.net>)併用

Proposals:

Test Proposal

prop-130:
Modification of
transfer policies (IPv4
only)

prop-130:
Modification of
transfer policies (IPv6
only)

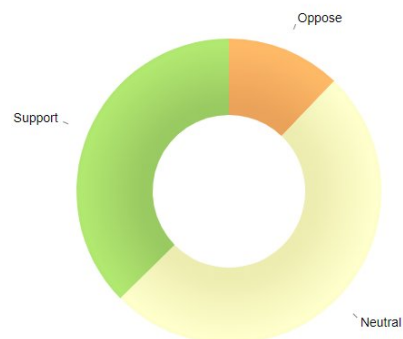
prop-130:
Modification of
transfer policies (ASN
only)

prop-133: Clarification
on Sub-Assignments

This proposal is not currently under discussion. There is no current proposal under discussion.

This is the online consensus for proposal: Test Proposal.

"This is a test proposal for practice session."



Polling Questions in Progress

00:00:19

Attendees are now viewing questions

1 of 1 voted

1.What is your favorite color?

Red (0) 0%

Green (0) 0%

Blue (1) 100%

End Poll

アドレスポリシーに関する議論

オンラインで約250名が参加。オンサイト含めると約300名に。
⇒直近はオンラインで約120名、倍増に。

4件の提案について議論。

prop-145 : 「ポリシー文書における用語定義の集約・統一」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-145/>

prop-146 : 「見出しとコンテンツの整合性確保」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-146/>

prop-147 : 「歴史的PIアドレスの管理方法について」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-147/>

prop-148 : 「IPアドレスのリース禁止」

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-148/>

あれ、あの最大割り振りサイズ変更の提案は...？

prop-141 「IPv4アドレスの最大割り振りサイズの/23から/23+/24への変更」

新規メンバーのIPv4アドレス割り振り上限を/23(512IP)から/23+/24(768IP)に変更する。2019年2月28日以降に上限での割り振り(/23)を受けたメンバーは追加で/24を申請することができる。なお、APNICの在庫量に合わせて以下のステージを設定し、最大割り振りサイズは変動する。APNICが返却などで在庫が増加した際は、それに伴いステージも変動する。

ステージ1 - 900,000以上 /23 + /24

ステージ2 - 900,000未満,256,000以上 /23

ステージ3 - 256,000未満190,000以上 /24

ステージ4 - 190,000未満になる場合、APNIC-127 5.1.1 Reservedの /16を利用可能なプールに追加する。最大割り振りサイズは/24

prop-141「IPv4アドレスの最大割り振りサイズの/23から/23+/24への変更」

APNIC52で登場→継続議論

APNIC53では提案期日に間に合わず情報共有のみ

APNIC54で議論の可能性が高いと見られたが...

提案者は提案を行わなかったため、

今回は議論なしになりました...

(一度本提案は廃案となり、同様の提案を行う場合は再配番となります)

prop-145:ポリシー文書における用語定義の集約・統一

- ドキュメントごとに行われている用語定義について、相互参照関係がバラバラになっている。

⇒APNIC-080 (APNIC Definition Document)という定義に関するドキュメントが既に存在するので、ここにまとめてしまおう！

目的

- ドキュメントの簡潔化・明確化。意味変更はなし。

⇒反対なし、満場一致のコンセンサスに。

prop-146 : 見出しとコンテンツの整合性確保

ポリシー各項のタイトルを以下の通り変更する。

改変する項	旧	新
3.1.4	“No Guarantee of contiguous delegation” (連続した委譲の非保証)	“Contiguous Delegation” (連続した委譲)
3.1.6	“Conflict of Goals” (目標の相反)	“Balancing the goals” (目標のバランス)

prop-146：見出しとコンテンツの整合性確保

目的

- 3.1.4項では連続した委譲に努める事を記載しているのに、タイトルはネガティブにとらえられる。
- 3.1.6項も申請者・コミュニティのバランス調整の役割を記載しているが、タイトルだと内容と合致していないように見える。

当日の議論

現状の文言でも支障はなく、積極的に変える必要はないとの考え方が一定数見られた。

⇒中立50%も、チェアの判断でコンセンサスに至る。

prop-147: 歴史的PIアドレスの管理方法について

APNICの取り組み

歴史的経緯をもつプロバイダ非依存アドレスの割り当て先を明確化

⇒2023年1月1日までに継続利用の手続きを完了していない場合、対象のアドレスを回収し、予約済みアドレスとする。

目的

歴史的PIアドレスをAPNIC管理下に置くことで、ルーティングセキュリティの強化やインターネットの安定運用を図る。

本提案での変更

回収されたアドレスを12カ月の猶予を経て、**再割り振り・割り当て可能なプール**へ入れる。この12カ月の期間中は割り当て先組織は申し出を行うことができ、所定の手続きのもと、データベース登録を元に戻すことができる。

prop-147: 歴史的PIアドレスの管理方法について

- **関連する過去の提案**

<https://www.apnic.net/community/policy/proposals/prop-017/>

- prop-017: Recovery of unused address space (2005年実装済み)
 - 経路広告が確認できず、連絡も取れない歴史的アドレスをAPNICが回収
 - 回収後は再利用せず予約済みアドレスとして管理(回復可)
- JPNICオープンポリシーミーティングにおいても同様の議論を実施(2004年)
 - コンセンサスに至らなかったが、**割り当て先組織明確化手続き実施(2009年3月完了)**
⇒JPNICの歴PI組織は対象外

prop-147: 歴史的PIアドレスの管理方法について

APNIC事務局からは以下のようなデータが提示されています。

現在確認できているAPNIC管理下でない歴史的PIアドレス3,932プレフィックスのうち、885個がルーティングテーブル上で確認されており、その内訳は以下である。

1. APNICと契約を結び、管理を開始した組織 : 81
2. 契約を結ぶべく、手続き中の組織 : 175
3. メールに対して応答の無い組織 : 581
4. 連絡先不明の組織 : 44
5. 不要とし、返却を済ませた組織 : 4

参照:<https://mailman.apnic.net/hyperkitty/list/sig-policy@lists.apnic.net/thread/XDIITMSYNORICFKMTJ5ENOLFU77KXUX3/>

prop-147: 歴史的PIアドレスの管理方法について

会場の意見

- まだコンタクト取れない組織が多すぎる、影響に不安
- 2023年1月に回収⇒2024年1月には再利用可能と近い将来であり、期間は十分なのか

⇒中立多数、コンセンサスには至らず

prop-148: IPアドレスのリース禁止

IPアドレスはリース禁止であることをポリシー文書に明記

- ここでのリースとは

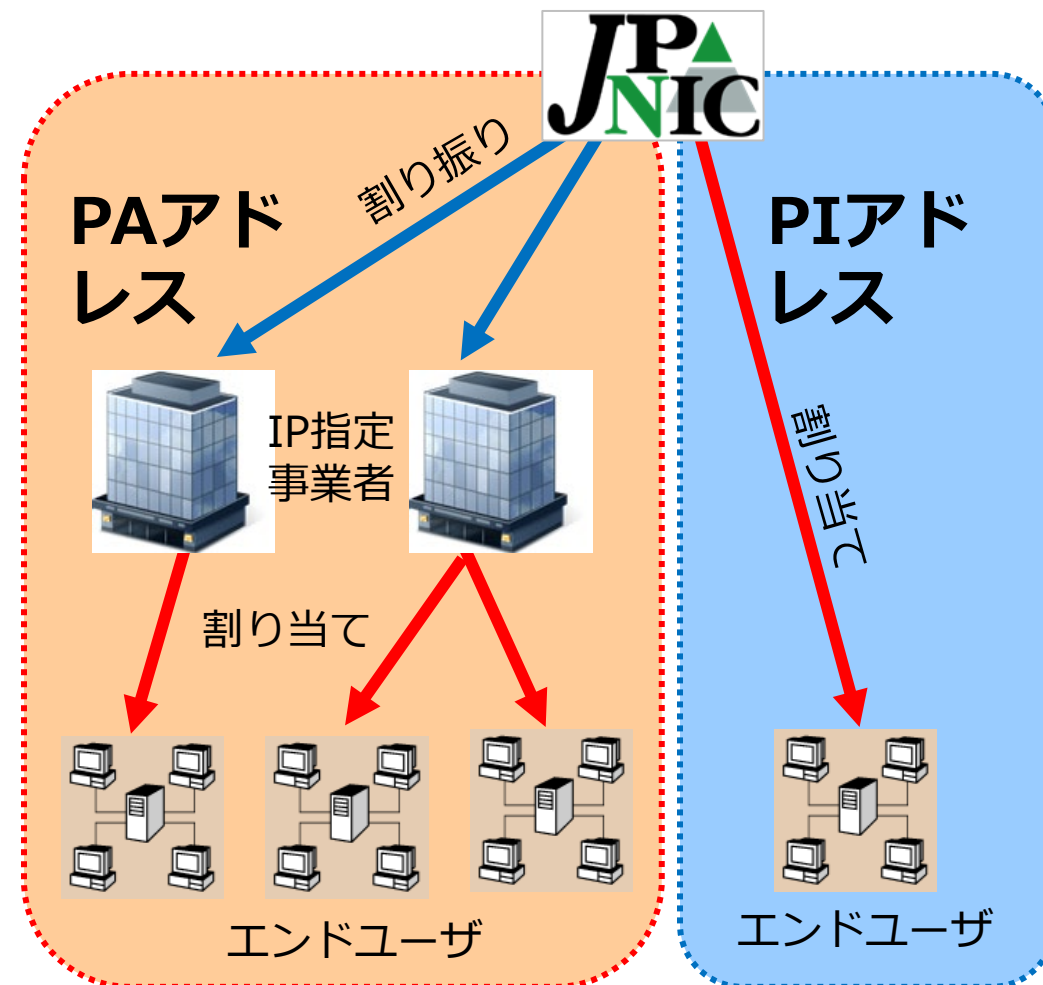
2.5 接続を失った場合

IP指定事業者から割り当てられたアドレスは、当該IP指定事業者との接続を失った場合、そのIP指定事業者に返却しなければなりません。アドレスの返却は、接続を失った日から原則として3ヵ月以内に行ってください。

IP指定事業者は、返却したアドレスを新たな割り当てに使用することができます。

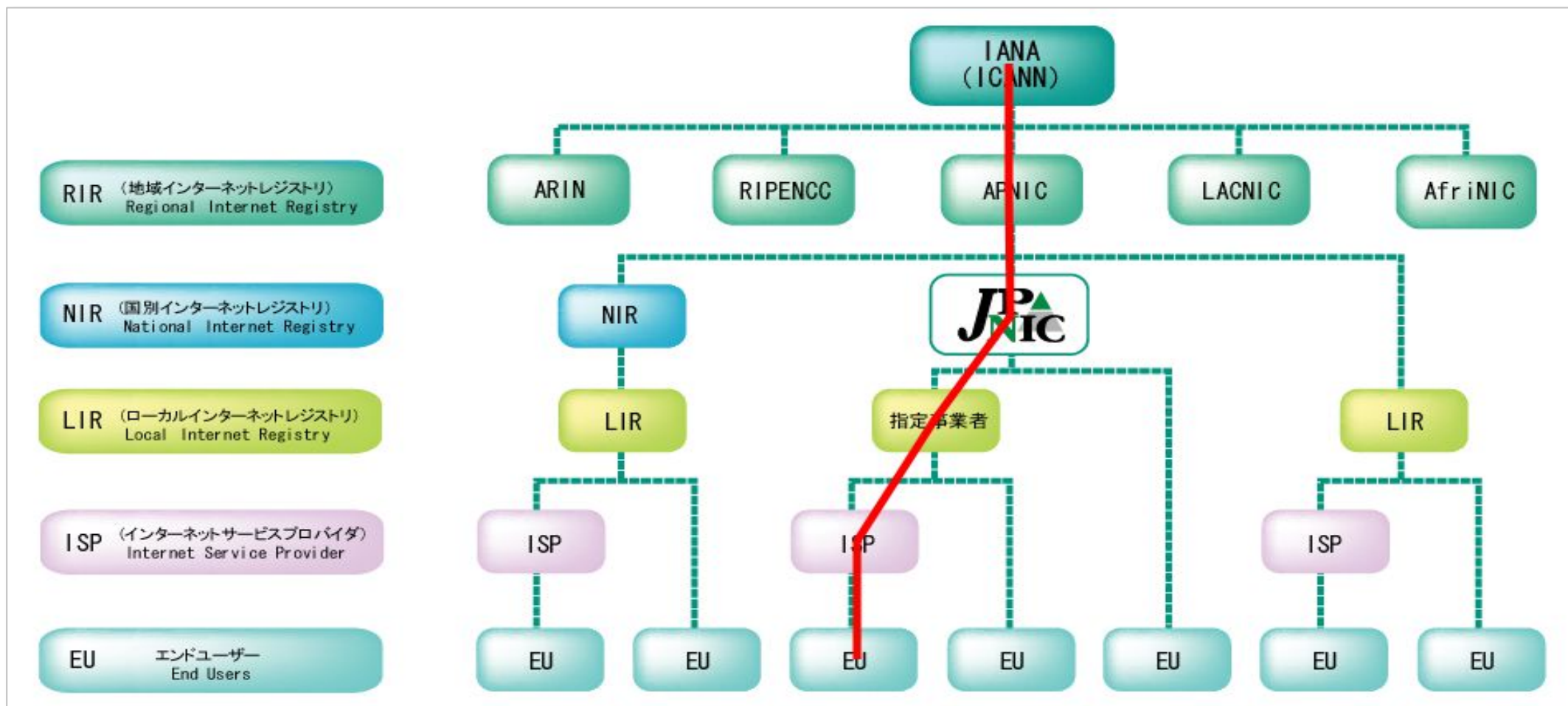
参考文書：「IPv4割り当て報告申請について(ユーザネットワーク用)」
<https://www.nic.ad.jp/doc/ip-addr-assign-user-process.html>

**ネットワーク接続性のない組織への
割り当て・利用**



prop-148: IPアドレスのリース禁止

リースは経路集成の仕組みを崩壊させる



prop-148: IPアドレスのリース禁止

- **賛成**

- これまでの解釈上禁止から、文書上でも明確になり混乱は少なくなる。
コミュニティにも認知され、違反利用の減少につながる。

- **反対**

- 現行の契約でもリース禁止であることは十分読み取れる
- 既にリースは行われており、禁止にするとユーザが困るのではないか
- ARIN等ではリースは容認されており、禁止とする意図が不明(?)

- **その他**

- リースの定義とは？

⇒賛成4割、反対5割と真っ二つ。コンセンサスに至らず。

他のRIRsでの話題も少しだけご紹介。。

2022年10月20日,21日 ARIN50ミーティング@Hollywood

ARIN-2022-9: Leasing Not Intended

NRPM(ARINのポリシー文書)ではIPv6の項目でアドレスは「財産」ではなく、権利の「委任」であることが明記されているが、IPv4にない。

⇒IPv4にもこの旨を明記、リースの禁止を併せて記載。

APNICと同じようにリースの定義が議論対象に。

定義不足の為、再提案を要請する声多数。

⇒10月26日 廃案(Abandoned)決定

RIPE(欧州・中東)

2022年10月24日～28日 RIPE85ミーティング@Belgrade(セルビア)

2022-02:Remove mandatory IPv4 PA assignment registration in the RIPE Database

割り当てにおいて、自組織ネットワークへの割り当て(インフラ割り当て)のDB登録を必須⇒推奨へ変更

提案者の考え

- ・ インフラ割り当ては利用率計算に利用されてきた
- ・ IPv4の追加割り振りの無い今、登録する意味合い薄い
- ・ 各LIRの割り当て登録状況にバラつき、不整合である

⇒必要性の声多数、廃案決定。

RIPE(欧州・中東)

IXP向けIPv4割り振りサイズの下限変更について

- /15のIXP用プールが存在している
- 新規IXPはデフォルトで/24を割り当てられる
- 最新のデータでは8割が/25以下、7割が/26以下の利用率に収まっている
- 延命の為に割り当てサイズを下げて問題ないのではないか

⇒/25? /26? はたまた/29で良いとの声も...

次回RIPEミーティングで議論か。

次回以降のAPNICミーティング

- **APRICOT2023/APNIC55**

日時： 2023年02月20日～3月2日

場所： フィリピン・マニラ



- **APNIC56**

日時： 2023年秋

場所： **日本開催決定！(場所はお楽しみに。。)**

参考： APNICミーティングはどこで開催されるの？

<https://blog.nic.ad.jp/2021/5846/>

APNICミーティングWebページ

<https://www.apnic.net/events/conferences/>